

## 食を通じて 世界とつながる

名古屋から南へ、電車で約30分。駅を下りてのどかな田舎道を歩いていくと、子どもたちの元気な声が聞こえてきた。豊かな自然に囲まれた知多市立旭北小学校だ。

キンコンカンキンコン。校舎に入ると、3時間目の始まりを告げるチャイムが鳴り響いた。調理室に入ってきたのは、5年2組の児童たち。今日はエプロンに三角巾の装い。これから、みんなが楽しみにしていた調理実習だ。

「それでは授業を始めます。前に注目!」。教壇に立っているのは、担任の水谷育世先生だ。

小学校で経験した調理実習で思い出すのは、目玉焼きやおみそ汁、卵焼きなど、料理の基本を学ぶメニュー。しかしこれから始まるのは家庭科ではなく、総合的な学習の時間の授業。何かちよつと違うようだ。「今回の総合的な学習の時間は、食を通じて、日本と世界の関わりを学ぶことを目指しています」と水谷先生。

実は水谷先生は、青年海外協力隊の経験者。「子どもたちの視野をもっと広げられる授業ができるよう、個性のある教員になりたいかっただけです」。就職5年目に決心し、ラオスの教員養成学校で2年間、地元の教員の指導に汗を流した。帰国後は、旭北小が学校ぐるみで取り組む国際理解教育をリードする存在だ。

これまで5年生は、日本の郷土料理にどのようなものがあるか、外国ではど



青年海外協力隊員に現職参加した水谷先生の授業は、世界を感じることができる工夫が盛りだくさん



女の子チームの手際の良さはピカイチ!

連携もこの学校の強み。「夏休み中の教員研修では、JICAの教員向けのセミナーにも積極的に参加している水谷先生から、国際理解教育の指導法について校内の教員が学ぶ時間を設けました。地方都市では海外の人や文化に接する機会が少ないので、私たち大人がそのような場をつくり出していきたい」と、榎原正登校長は力を込めて話す。この授業以外にも、ブラジルやカタル、イギリス、パキスタンの子どもたちと一枚の絵を完成させる交流などを積極的に取り入れてきた。

いよいよ調理開始。「いろいろな国の料理を作るのも食べるのも初めて。家でお手伝いはするけど、おいしくできかな」。そう言いながら一生懸命材料を混ぜているのは、井手迫実希さん。調味料も見えないスパイスばかりだ。「日本ではこんなにたくさん豆を使わないね」「おこめも長細いし、ちよつとパサパサしてるなあ。苦戦しながらも楽しく料理に取り組みむが、あちこちから聞こえてきた。「さあ、できた!」。1時間もたたないうちに、7つのテーブルでそんな声が次々と上がり始めた。その料理の国の旗を立てたら完成の合図。教室いっぱいにおいしそうなおいが漂い、「早く食べたい!」と子どもたちもそわそわ。食器を手にして準備万端だ。

「さあ、これから7つのテーブルを回って、7か国グルメツアーに行きましょう!」。水谷先生の掛け声に、みんなが一斉に、スプーンを持って一つ一つの料理を試食していく。「見た目はちよつと悪いけどおいしいね!」と人気だったのは、ブラジルの黒豆の煮込み「フェジョアード」。断食明けに食べるモロッコの「ハリラスープ」は、なんとウコンの粉末入り。「粉は少しくさかったけど、スープにするとおいしくてびっくり」と好評だった。少し味付けが薄いかと心配していたインドネシアの「ナシゴレン」は、あつという間に完売。隠し味は、インドネシア料理には欠かせない「サンバル」というチリソースだ。

「今まで食べたことのない味ばかりで、知らないことがたくさん発見できました」と小倉瑠南さん。「日本でも食材を買えることが分かったので、家でも作ってみたい」と、岡本眉沙さんは楽しそうに話して



手作り料理はどれもおいしくできた。それぞれの国の料理の特徴についても勉強



ナシゴレンはインディカ米をフライパンで炊くところから挑戦。水の量も火加減もバッチリでふんわりと炊き上がった

## 世界とつながる 教室

# “食”で世界一周をしよう!

子どもたちに視野を広げてほしいと、国際理解教育に力を入れる愛知県知多市立旭北小学校。5年生は「食」を通じて、開発途上国との距離が縮まりつつある。

スプーンと紙コップを持って、グルメツアーに出発!「ちよつと辛いけどおいしい!」。どのお皿もあつという間からっぽに



てくれた。

翌週には、さらにもう一步、食に踏み込んだ学びの時間。日本の食料自給率の低さや、実はたくさんさんの食料を海外、中でも開発途上国と呼ばれる国々から輸入していることなどを学んだ。「実はいろいろな国とつながっているんだなあ」。水谷先生が目指しているのは、このような授業を通じて、一人一人が「今、自分ができること」を見つけていくこと。さまざまな国に思いをめぐらせ、世界に目を向け始めた子どもたちは、少しずつ、たくましく成長しているように見えた。

旭北小学校の子どもたちが、ここからどのような行動を起こしてくれるのか楽しみだ。